

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表:令和 4年 1月 31日

事業所名 放課後等デイサービス なんてん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	利用者別にスペースを分けて安全を確保 別室で個別カリキュラム	R4年2月より、放課後等デイサービスあおむしを開所 現在の場所と2つに分けることによって活動のスペースを確保
	2	職員の配置数は適切である		○	配置数は多めに取っており基準を満たしている	介助に手が届くことも多く、個別に支援できる時間が取れないこともあった 活動の場が別れることにより改善を期待 送迎時の同乗スタッフを配置できると望ましい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内スロープ トイレ・バスに手すり 移動箇所に境目なし	玄関前の段差の解消
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	ミーティング、ケア会議で職員の話し合いを設けている	会議の内容を吟味し、より具体的な目標設定に繋げていく 議事録を掲示して情報を共有していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年実施	アンケート結果を元に業務の改善を行う
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPIにて公表	改善点を改めて見直していきたい
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部による評価は行ってない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		社外研修の情報を知る機会がない 状況を見ながら機会を設けて参加していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		できる限り面談を行い、半年ごとに必ずケース会議を開き計画を見直ししている	コロナの状況を見ながら、今まで以上に面談やコミュニケーション多く取れるよう機会を増やしていきたい 個別に担当を設け具体的に支援できるようにしていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			個別に具体性を持ったアセスメントするためのシートを作成
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者で立案し、ミーティングで話し合いをし決定している	スタッフミーティングの質を向上させていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節ごとのイベントを取り入れている	スタッフミーティングでアイデアを精査していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		その日に応じたスケジュールを事前に計画し、一日の流れを分かりやすく書き出している	支援をしていくにあたって課題をしっかりと決めていきたい また設定したことを支援に繋げていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		ケース会議を行い、それぞれの状況に応じた個別・集団活動の計画を立てている	常に意識して見直していきたい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼やメール、連絡ノートで共有	パートスタッフへの連絡不足の改善、役割分担や事前打ち合わせを徹底していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		決まりではないが話し合いや経過記録を書くことで共有している	次の日に繋がるような今日、一日の振り返りを増やしていきたいと思う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		終了後経過記録をかいて共有、活用し支援に繋げている	スタッフ全員に経過記録の重要性を周知したい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		毎月のケア会議で話し合い半年に一度は必ず計画の見直し・継続を判断している	モニタリングにより利用者様、保護者様とのコミュニケーションを図って行きたい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○		ガイドラインの周知、マニュアル作成の検討

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		児発管や看護師または子どもに精通している者が参画	スタッフ全員からの情報も取りまとめて参画していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		保護者からの情報提供や学校のホームページより間違えのないよう毎日確認と連絡を行っている	学校との繋がりと担任との良い関係を築くように気を配っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		医師の指示書にて連携をしている	緊急時の体制など分かりやすくしていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		相談支援から基本情報を頂いている	必要時にはいつでも提供し合えるよう連携を図る
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		グループの強みを活かして情報を提供している	色々な事業所があるので利用者様に多角的に事業所を活用出来るようお伝えしていけるよう努力していきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		研修に参加	研修に参加し助言の機会を増やす
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>			コロナの収束の際には地域の資源をもう少し活用出来るように改善していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		会社としては参加出来ている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時などお会いした時には必ず様子を伝えられている	家庭や学校での様子を伺うようにしていく
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		送迎時や面談時にアドバイスのなど行っている	保護者と共になって考えていきたい 会社内で情報を共有していく	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時や面談時、また変更があった時はその都度説明している	丁寧に分かり易い説明を心掛けていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		個人面談を行い対応している	普段のコミュニケーションからも相談し易い関係を築いていきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		R3年12月、保護者懇談会を開催	定期的に保護者会を開催していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情や要望は直ぐに伝え改善に努めている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		毎月予定表と一緒に活動予定を配布、HPなどで発信している	これからもより詳しい内容でお伝えしたい
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		個人のファイルに整理し鍵付きの書庫に保管	守秘義務に徹底していきたい
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		話す機会を多くして情報を共有	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>			状況も見て地域の方々にも知っていただけるような工夫をしていきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		マニュアルを策定、毎年見直しをしている	保護者への周知が足りていないので防災訓練週間を設けるなど、伝える機会を設ける
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		年2回避難訓練を実施	訓練や備えの足りない部分の検討・見直しをしていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		研修を行っていく	研修に参加し定期的に議題にも取り入れていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		契約時に説明を行い同意書にサインを頂き個人ファイルに保管している	支援計画に記載するか検討
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		保護者との面談時に確認	現在の状況を把握することに努めたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		直ぐに記入し見える場所に掲示、情報共有している	事故防止に繋がるよう注意喚起していきたい

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 年 月 日

公表: 令和 2年 1月27日

事業所名 放課後等デイサービス なんてん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		利用者別にスペースを分けて安全を確保している	利用者の年齢や状況によっては狭く感じることがあるため受け入れ時にバランスを考慮していきたい 寝返りやおむつ交換のスペースを増やしたい
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		配置数は多めに取っており基準を満たしている	利用人数や児童の年齢や状況、活動内容によっては対応できるように配置していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		室内スロープ トイレ・バスに手すり 移動箇所に境目なし	設備についてみんなの意見や要望も聞いていく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		ミーティング、ケア会議と毎週2回職員の話し合いを設けている	会議の内容を吟味し、より具体的な目標設定に繋げていく 議事録を掲示して情報を共有していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		毎年実施	アンケート結果を元に業務の改善を行う
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		HPIにて公表	改善点を改めて見直していきたい
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		外部による評価は行っていない
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		積極的に取り組んでいる	機会を設けて参加していく
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		半年ごとに面談の要請、ケース会議を開き計画を見直ししている	今まで以上に面談やコミュニケーション多く取れるよう機会を増やしていきたい
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			アセスメントツールの改善も考えていきたい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		担当で立案し、毎月毎週の会議で話し合いをし決定している	毎週のスタッフミーティングの質を向上させていく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		月ごとに改めて活動を考えている	毎週のスタッフミーティングでアイデアを精査していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		その日に応じたスケジュールを事前に計画し、一日の流れを分かりやすく書き出している	課支援をしていくにあたって課題をしっかりと決めていきたい
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		ケース会議を行い、それぞれの状況に応じた個別・集団活動の計画を立てている	常に意識して見直していきたい
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		<input type="radio"/>	朝礼やメール、連絡ノートで共有	パートスタッフへの連絡不足の改善、役割分担や事前打ち合わせを徹底していく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		<input type="radio"/>	決まりではないが話し合いや経過記録を書くことで共有している	次の日に繋がるような今日、一日の振り返りを増やしていきたいと思う
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		終了後経過記録をかいて共有、活用し支援に繋げている	スタッフ全員に経過記録の重要性を周知したい
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		毎週のケース会議で話し合い半年に一度は必ず計画の見直し・継続を判断している		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		そこに合わせた支援を行っている	ガイドラインの読み合わせ等の機会・マニュアル作成の検討	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		児発管や看護師または子どもに精通している者が参画	スタッフ全員からの情報も取りまとめて参画していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		ミスがないように確認を徹底している	学校との繋がりがりや担任との良い関係を築くように気を配っていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>			保護者の承諾は得ているが、緊急時の体制を整えたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>			必要時にはいつでも提供し合えるよう連携を図る
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		グループの強みを活かして情報を提供している	色々な事業所があるので利用者様に多角的に事業所を活用出来るようお伝えしていけるよう努力していきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		研修に参加	研修に参加し助言の機会を増やす
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		定期的に児童館へ行く活動がある	地域の資源をもう少し活用出来るように改善していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>		機会があれば参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時などお会いした時には必ず様子を伝えている	家庭や学校での様子を伺うようにしていく
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		<input type="radio"/>	送迎時や面談時にアドバイスなど行っている	保護者と共になって考えていきたい	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時や面談時、また変更があった時はその都度説明している	丁寧に分かり易い説明を心掛けていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		個人面談を行い対応している	普段のコミュニケーションからも相談し易い関係を築いていきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		今後の開催、支援を検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情や要望は直ぐに伝え改善に努めている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		毎月予定表と一緒に活動予定を配布、HPなどで発信している	これからもより詳しい内容でお伝えしたい
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		個人のファイルに整理し鍵付きの書庫に保管	守秘義務に徹底していきたい
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		話す機会を多くして情報を共有	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>	家族参加のイベントを開催している	地域の方々にも知っていただけるような工夫をしていきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		<input type="radio"/>	マニュアルを策定、毎年見直しをしている	保護者への周知が足りていないので、防災訓練週間を設けるなど、伝える機会を設ける
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		年2回避難訓練を実施	訓練や備えの足りない部分の検討・見直しをしていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		<input type="radio"/>		研修に参加し定期的に議題にも取り入れていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		契約時に説明を行い同意書にサインを頂き個人ファイルに保管している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<input type="radio"/>	保護者との面談時に確認	現在の状況を把握することに努めたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		直ぐに記入し見える場所に掲示、情報共有している	事故防止に繋がるよう注意喚起していきたい